

社会福祉法人 太田福祉記念会 令和3年度事業報告

誓いの言葉

- 一、私たちは、利用者の人権を尊び、安らぎと生きがいづくりに努めます。
- 一、私たちは、地域福祉の向上を目指し、保健・医療・福祉の連携をすすめます。
- 一、私たちは、常に専門職として、愛の心と技術の向上に努めます。

理念「誓いの言葉」の実現に向けた基本的な考え方を三本の柱として集約。取り組む方向を全職員に示し、感染対策を徹底しながら事業を実施した。

- ①職員の育成による質の高い介護サービスの提供
- ②地域福祉からのまちづくり参画
- ③計画的財務管理による健全経営の維持

★＝新規項目

[1] 令和3年度重点事業プラン

◎経営戦術基本方針

「地域貢献事業の企画・実施」

「福島県一質の高い介護サービスを提供しよう」

「入所・通所各事業所への新型コロナウイルス持ち込みの徹底排除を行う」

1. 特色ある事業所づくりの推進

- ・利用者には選ばれる事業所になるため、事業所ごとに組織的努力の焦点を明確にする特色づくりに着手。令和4年度中の設定に向け継続中。

2. 太田福祉記念会地域貢献事業

- ・地域密着支援事業 除雪ボランティア（10年目）参加職員 11名
高齢者7世帯の除雪（熱海地区、湖南地区）

※感染症予防のため、生活困窮世帯の子どもを対象とした学習支援事業は中止。

3. きらきら人材育成事業（計1,228千円・延325名）

（1）人材育成プランによる研修（792千円・延247名）

- ① 新採用職員ガイダンス 受講者6名 令和3年4月1日
- ② 新採用職員研修（3カ月間・5回）受講者4名 令和3年7月7日～9月15日
- ③ 採用6年次研修（6カ月間・12回）受講者7名（指名研修）

令和3年9月8日～令和4年2月16日

- ★ ④ 虐待防止研修（3回）受講者 延230名（全職員） 令和3年10月14日、19日、21日
※②～④は専門の外部講師を招聘し開催。

(2) 外部専門研修等派遣（436千円・延78名）

職種別専門研修（県内外）38講座

- ① 感染症対策研修（オンライン）6名 令和3年5月21日
 - ② 高齢者虐待・身体拘束防止研修（郡山市）2名 令和3年5月26日
 - ③ 介護現場の看取り対応研修（福島市）2名 令和3年6月14日
 - ④ リスクマネジメント研修（オンライン）2名 令和3年6月29日
 - ⑤ 日本栄養士会「各種加算の取り方」研修会（オンライン）1名 令和3年7月17日
 - ⑥ 社会福祉法人評議員研修（郡山市）2名 令和3年8月3日
 - ⑦ 能力開発セミナー「部下を効果的に叱る方法」（郡山市）3名 令和3年8月25日
 - ⑧ 社会福祉法人役員研修（郡山市）1名 令和3年9月10日
 - ⑨ 企画調査班「神の手介護ネットワークプロジェクト」視察研修
（国際福祉機器展・東京都）9名 令和3年11月11日
 - ⑩ 介護事業所職員（栄養士）集合研修（郡山市）1名 令和3年11月30日
 - ⑪ 改善活動の支援・促し有効性紹介セミナー（オンライン）1名 令和4年1月12日
 - ⑫ ポストコロナにおける法人経営セミナー（オンライン）1名 令和4年1月12日
 - ⑬ 新型コロナ・クラスター対応緊急研修会（オンライン）1名 令和4年2月16日
- ※オンライン研修19講座を含む。他に新型コロナ感染拡大に伴う派遣中止3講座。

[2] 本部事業

1. 法人運営の安定化

(1) 感染症対策

- ・ 感染防護物品の備蓄一覧表 （令和4年3月31日現在）

品名	保管数量	品名	保管数量
サージカルマスク	31,000枚	体温計	4個
アルコール消毒液	302ℓ	血圧計	6台
使い捨てビニール手袋	210,000双	酸素飽和度測定器	6台
使い捨てエプロン	28,500枚	吸引器	3台
ペーパータオル	254,000枚	ペダル式ゴミ箱	9個
ガーゼ	28,000枚	フェイスガード	1,000枚
ゴーグル	139個	携帯型手指消毒スプレー	68個

- ・ 経過（抜粋）

流行状況の変化にあわせ、新型コロナウイルス感染症の職員行動指針を随時見直したほか、ワクチン接種の推奨、同居家族等罹患時の出勤自粛要請、感染拡大地域への往来自粛要請を行うなど、事業所内へのウイルス持ち込みを徹底排除。

年月日	内容
令和2年 1月8日 2月26日	感染症予防物品管理強化（サージカルマスク、アルコール消毒液等）。利用者への面会、外部講師によるクラブ活動、ボランティアの受け入れ、利用者の理美容、職員の研修会参加を当面禁止に。

年 月 日	内 容
4月7日	感染拡大防止対策の徹底指示文書発出。職員の福島県外移動は事前届出、帰宅後7日間の自宅待機などを指示。(7月7日解除)
4月21日	テレビ電話面会サービス開始。
6月22日	両ホーム看取り介護利用者の面会体制整備、実施。
10月21日	玉川ホーム中央棟で感染者発生対応訓練実施。(以降BCP発動訓練及びゾーニング訓練を両ホームで定期的実施。)
11月13日	新型コロナウイルス感染症に関する職員の行動指針を策定・周知。 (一部改正：R2.12.11、R3.3.16、R4.2.2)
12月11日	年末年始の帰省家族等への対応や、感染拡大地域への移動自粛を指示。
令和3年	
1月14日	緊急事態宣言発令地域への移動は事前届出、帰宅後7日間の自宅待機などを指示。(3月22日解除)
2月8日	南会津郡内高齢者施設へ支援職員2名を派遣。
3月5日	職員1名が家族から感染、入院。全職員に3回/日の体温測定記録を指示。利用者及び職員191名のPCR検査を順次実施し、全員の陰性を確認。
3月22日	感染拡大地域(人口10万人あたりの週陽性者数が15人以上の都道府県)への移動は事前届出。
5月24日	新型コロナワクチン接種開始 (利用者及び職員499名が7月2日までに2回の接種を終了)
12月1日	利用者への直接面会(事前予約制、非接触)を再開。
令和4年	
1月11日	感染再拡大に伴い、利用者への直接面会を再び中止。
1月17日	新型コロナワクチン(3回目)接種開始 (利用者及び職員471名が2月25日までに終了)
3月12日	職員1名が感染(経路不明)、入院。濃厚接触となった利用者及び職員3名のPCR検査を順次実施し、全員の陰性を確認。

(2) 経費節減

- ① 競争入札実績 2件(軽自動車、電動ベッド) 予算計上額に対する節減額 606千円
- ② 全施設電気料 前年度比 使用量▲0.3% 料金 2,997千円増
※震災前の平成22年度比 使用量▲19.0%、震災後の平成23年度比 使用量▲11.9%
- ③ 全施設水道料 前年度比 使用量▲5.0%(▲1,825 m³) 料金▲614千円
※標準的な小学校のプール4杯分相当を節減
- ④ 全施設ボイラー燃料 前年度比 使用量▲4.2%(▲13,287 m³) 料金 6,783千円増

(3) 公的助成制度の活用(計 25,908千円)

- ・福島県や郡山市等の助成制度による積極的な補助金、交付金等の導入

〔福島県〕地域医療介護総合確保基金事業補助金 471千円

働き方改革支援奨励金 100千円

感染防止対策支援事業助成金 260千円

感染症流行下における介護サービス提供体制確保事業補助金 82千円

[郡山市] ケアハウス事務費補助金 21,390 千円

令和3年福島県沖地震に係る社会福祉施設災害復旧補助金 1,222 千円

結核予防事業費補助金 349 千円

介護保険の中山間・特別地域における訪問介護等利用料助成金 37 千円

[福島労働局] 人材確保等支援助成金 1,500 千円

[独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構] 障害者雇用調整金 297 千円

[全国社会福祉協議会] 賠償責任保険金（感染施設消毒対応費用）200 千円

(4) 中期財務計画に基づく建物設備等の保守更新（計 45,839 千円）

① 介護保険システムライセンス及びサーバー等更新（法人事務局）24,349 千円

② 真空ヒーター及び循環ろ過装置更新（グリーンライフ小磯）19,800 千円

③ 車いす仕様送迎用軽自動車更新（玉川ホーム）1,690 千円

★ (5) デジタル化の研究

・企画調査班「神の手介護ネットワークプロジェクト」研究報告書

① 「ICT 導入のために Wi-Fi 環境の整備」

② 「インカムを使用して職員間の情報共有を迅速化する」 ※①②新年度事業に反映

★ (6) 賃金改善と公平性の確保

・「処遇改善支援補助金手当（支給総額 1,180 千円/月）」を創設し、全職員の賃金を改善。

・国の施策で生じていた介護職との賃金格差を解消するため、介護職以外の職員に「格差改善支援手当（支給総額 853 千円/月）」を支給し公平性を確保。

(7) 環境美化

・熱海町施設周辺のクリーンアップ大作戦（7 年目）参加職員 38 名

2. 有能人材の確保・育成

(1) 募集広報担当職員（介護職員）の育成と人材の発掘、採用

正規職員採用内定者 12 名（生活相談員 1 名、介護支援専門員 1 名

看護師 3 名、介護員 5 名、調理員 2 名）

① 募集広報活動等

・教育機関個別訪問（1 校） ・福祉の職場 WEB 説明会参加（1 回）

・介護労働安定センター実務者研修修了者就職説明会参加（1 回）

② 募集広報

・正職員採用試験計画どおり実施（4 回） ・ハローワーク ・ホームページ掲載

・求人広告掲載 4 件（広告料 1,125 千円） ・職員へ人材紹介の協力要請

③ 離職率

介護職（正職員）の離職者 5 名・率 4.5%（前年度 3 名・2.65%） ※全国 14.9%

★ (2) 働きやすい職場環境づくり

福島県次世代育成支援企業認証

① 「働く女性応援」中小企業認証 ② 「仕事と生活の調和」推進企業認証

[3] 特別養護老人ホーム

1. 利用者に質の高い介護サービスを提供

(1) 特別感染症対策事業（共通）

- ・緊急時介護サービス復旧計画（BCP）の発動を想定した訓練
玉川ホーム 1回 10名参加 あたみホーム 1回 11名参加
- ・施設内ゾーニングシミュレーション
玉川ホーム 8回 延108名参加 あたみホーム 12回 延129名参加
- ・太田熱海病院との感染防止会議 3回
- ・新規入所時のPCR検査実施 玉川ホーム 45名 あたみホーム 17名
- ・テレビ電話による面会 玉川ホーム 延367回 あたみホーム 延190回

(2) 食事の経口摂取維持への支援（共通）

- ・経口維持加算算定
玉川ホーム 36.1名/月（目標40名/月）加算額合計 1,736千円
あたみホーム 52.2名/月（目標50名/月）加算額合計 2,508千円

(3) 看取り介護体制の充実・強化（玉川ホーム）

- ・看取り介護加算
玉川ホーム 18名 加算額合計 1,020千円（前年度18件）

(4) 栄養マネジメント体制及び個別機能回復訓練の充実（あたみホーム）

- ★ ・栄養マネジメント強化加算算定 103.8名/月 加算額合計 3,277千円
- ・個別機能訓練加算算定 28.0名/月（目標20名/月）加算額合計 1,124千円

★ (5) 国の科学的介護情報システム（LIFE）運用開始による新加算算定（共通）

- ・科学的介護推進体制加算算定
玉川ホーム 172.4名/月 加算額合計 1,034千円
あたみホーム 104.0名/月 加算額合計 624千円
- ・上位の褥瘡マネジメント加算算定
玉川ホーム 172.3名/月 加算額合計 170千円
あたみホーム 103.5名/月 加算額合計 101千円

(6) 車載用車いすの適正な運用（共通）

- ・命を守る車いすプロジェクトメンバーによる操作マニュアル伝達講習
玉川ホーム 延81回 あたみホーム 延74回

(7) 身体拘束廃止への取り組み（共通）

- ・身体拘束廃止人数 玉川ホーム 18名中10名 あたみホーム 7名中3名

(8) 事故再発防止への取り組み（共通）

- ・郡山市介護保険課への事故報告書提出件数
玉川ホーム 9件（うち骨折5件） あたみホーム 5件（うち骨折3件）

2. 健全な財務体制の確保と業務効率化の推進

事業所名	長期入所者数（稼働率） ※下段は3年度目標	短期入所者数（稼働率） ※下段は3年度目標		
			介護	介護予防
玉川ホーム	164.6名/日（96.8%）	18.6名/日（93.0%）	18.6名/日	0.0名/日
【定員 長期 170名 短期 20名】	163.5名/日（96.1%）	17.0名/日（85.0%）	16.9名/日	0.1名/日
あたまホーム	99.2名/日（99.2%）	18.1名/日（86.1%）	17.7名/日	0.4名/日
【定員 長期 100名 短期 21名】	96.5名/日（96.5%）	17.0名/日（80.9%）	16.6名/日	0.4名/日

(1) 稼働率の向上（共通）

- ・玉川、あたま両ホーム合同入所検討委員会 4回

(2) IT機器を活用した業務の効率化（あたまホーム）

- ・生活支援システム活用推進会議 計画どおり開催 3回
- ・各職種の業務日誌のシムテム化を推進するため、日誌の様式作成、マスタ整備や基本情報の入力等を毎月実施。

3. 職員の育成

(1) 新採用職員教育の充実（共通）

- ・がんばっぺ職場研修の実施
プリセプター配置 玉川ホーム 2名 12カ月 対象職員 1名
あたまホーム 2名 4カ月 対象職員 2名

(2) 福島県喀痰吸引等実地研修（共通）

- ・介護職員による痰の吸引等のための研修事業を実施。
玉川ホーム 4名（令和3年10月22日～令和4年1月7日）
あたまホーム 2名（令和3年9月5日～11月14日）

★(3) 内部研修会の充実（共通）

- ・第17回法人全体研究発表会（令和2年度）は、感染対策のため集合での開催を中止し、4つの研究成果発表をDVDに収録して全事業所に配布。
- ・第18回法人全体研究発表会 令和4年2月28日（オンライン開催）

[4] ケアハウス

1. 健全な財務体制の確保と稼働率の向上

事業所名	入居者数（稼働率） ※下段は3年度目標		
		1人部屋	2人部屋
グリーンライフ小磯	22.4名/日（74.6%）	22.4名/日	0.0名/日
【定員 30名】	28.0名/日（93.3%）	26.0名/日	2.0名/日

(1) 新規入居者の確保及び施設のPR

- ・新規入居者数 4 名、退居者数 5 名（前年度新規入居者数 4 名、退居者数 6 名）
- ・近隣市町村地域包括支援センター訪問 PR 活動 3 カ所実施

(2) 介護予防の推進

- ・運動器訓練等を行う元気クラブ 230 回 延 3,413 名（1 回あたり平均 14.8 名）
- ・入居者の希望を取り入れた行事やグループ活動の実施
ショッピング 6 回 延 12 名 外注食 1 回 延 17 名
- ・移動スーパーの来所を実現、果物や日用品等購入機会を提供
移動販売車来所 47 回 延べ 653 名

2. 入居者の生活環境改善

(1) 感染防止対策

- ・新型コロナウイルス感染症防止研修会 2 回 延 6 名
- ・施設内ゾーニングシミュレーション 1 回 2 名

(2) 入居者懇談会 計画どおり開催し、その内容を掲示 2 回

(3) サービス担当者会議 計画どおり開催 23 回（入居者 1 人あたり 1 回）

[5] 在宅の介護・支援サービス

I. デイサービス

1. 利用者の自立を支援する質の高い介護サービスを提供

(1) 特別感染症対策事業（共通）

- ・新型コロナウイルス感染症防止研修会
太田デイサービス 3 回 延 28 名
太田玉川デイサービス 3 回 延 26 名
太田小磯デイサービス 4 回 延 20 名
- ・緊急時介護サービス復旧計画の発動を想定した訓練
太田玉川デイサービス 玉川・あたま両ホームの訓練に各 1 名参加
太田小磯デイサービス グリーンライフ小磯の訓練に 4 名参加

(2) 運動機能を維持するための取り組み（太田デイサービス）

- ・ロコモティブシンドローム（※）予防の太極拳体操 304 日実施 延 5,816 名参加
（※）運動器の障害のために移動機能の低下をきたした状態
- ・職員による体を動かしながら楽しめるレクリエーションの開発
サッカーゲームなど 304 日実施 延 5,816 名参加

(3) 自立支援を意識した取り組み（太田デイサービス）

- ・朝食提供による生活支援 実利用者 11 名 延 1,203 食
- ・家族のレスパイトケアを目的とした利用回数の増
1 週あたり 1 回増 8 名 2 回増 2 名 5 回増 1 名

(4) 自立支援と認知症進行防止の取り組み（太田玉川デイサービス）

- ・取り組みをとおして ADL の状態の維持、向上が見られた利用者

60 名中 47 名（維持 41 名・向上 6 名）

脳の活性化を目的とした活動	生活機能維持向上を目指した機能回復訓練
貼り絵の制作 26 回	上下肢及び口腔体操（集団） 259 回
季節の飾り作り 39 回	レクリエーション活動 244 回
クイズ、塗り絵、計算ドリル等 176 回	要支援者の機能回復訓練 延 1,074 名

(5) 自立支援と認知症進行防止の取り組み（太田小磯デイサービス）

- ・握力強化やボールを使った下肢運動等の個別機能回復訓練

250 回 実利用者 39 名

- ・音楽レクリエーション活動（歌う・笑う・考える）による認知機能の低下防止

259 回 実利用者 39 名

2. 健全な財務体制の確保

事業所名	営業日数	利用者数	※下段は 3 年度目標			実利用者数	
			介護	総合事業	認知症		うち新規
太田デイサービスセンター 【定員 30 名】	310 日	20.7 名/日 23.5 名/日	16.9 名/日 19.3 名/日	3.8 名/日 4.2 名/日	-	85 名	27 名
太田玉川デイサービスセンター 【定員 37 名】	259 日	20.4 名/日 25.5 名/日	13.2 名/日 16.6 名/日	4.1 名/日 2.8 名/日	3.1 名/日 6.1 名/日	76 名	15 名
太田小磯デイサービスセンター 【定員 18 名】	259 日	13.2 名/日 16.3 名/日	10.4 名/日 13.9 名/日	2.8 名/日 2.4 名/日	-	49 名	3 名

★・国の科学的介護情報システム（LIFE）運用開始による新加算算定（共通）

科学的介護推進体制加算算定

太田デイサービス 63.4 名/月 加算額合計 304 千円

太田玉川デイサービス 57.4 名/月 加算額合計 275 千円

太田小磯デイサービス 38.5 名/月 加算額合計 185 千円

II. ホームヘルプサービス

健全な財務体制の確保

事業所名	利用者数	※下段は 3 年度目標				実利用者数	
		熱海		小磯分室			うち新規
		介護	総合事業	介護	総合事業		
太田訪問介護事業所	12.5 名/日 14.6 名/日	6.7 名/日 9.6 名/日	4.4 名/日 5.0 名/日	1.1 名/日 0 名/日	0.3 名/日 0 名/日	49 名	23 名

Ⅲ. 居宅介護支援サービス

質の高いケアプラン作成と収支バランスのとれた財務体制の維持

(1) 質の高いケアプランの作成

- ・退院調整によるサービス計画作成 38 件（前年度 46 件）

(2) 健全な財務体制の確保

事業所名	利用者数
太田指定居宅介護支援事業所	151.0 名/月（目標 160 名/月）

- ・退院退所加算 38 件 加算額合計 175 千円（前年度 37 件）
- ・入院時情報連携加算 70 件 加算額合計 133 千円（前年度 79 件）
- ・ターミナルケアマネジメント加算 2 件 加算額合計 8 千円（前年度 1 件）
- ★ 通院時情報連携加算 12 件 加算額合計 6 千円（新設）
- ・市町村等から依頼された介護認定調査 3 件 委託料合計 9 千円（前年度 3 件）

Ⅳ. 地域包括支援サービス及び介護予防支援サービス

健全な財務体制の確保

事業所名	利用者数
湖南地区地域包括支援センター （湖南地区介護予防支援事業所）	80.8 名/月（目標 90 名/月）

※感染症予防のため、地域住民又は地域の福祉関係者と開催を予定していた、地域ケア会議、介護予防教室、認知症サポーター養成講座、「おいそカフェ まざっせ」を中止。